

令和3年度市長奨励賞及び善行賞の授与について

秘書広報課

令和3年度受賞者（所属）及び受賞理由

1 市長奨励賞

【職務上】

① 未来創造部 未来政策課、交通政策課

母子健康情報サービスや、タクシー運賃補助にマイナンバーカードを活用したほか、シェアサイクルシステムの展開、自動運転バスなどをはじめとしたスマートシティの実装に取り組んだことが評価され、デジタル庁より、「令和3年度デジタル社会推進賞・デジタルの日奨励賞」を受賞。

② 市民部 生活課 南橋市民SC 主任 高野 淳 一

20年の長きに渡り、戸籍・住民基本台帳事務職員として職務に精励していることが高く評価され、法務大臣表彰を受賞し、表彰された。

市民サービスセンター業務全般を担当し、常に事務効率や市民サービスの向上等に向けて努力を惜しまず研鑽を続け、誠実に職務に精励している。その功績は大であり、豊かな識見で他の職員の模範となっている。

③ 文化スポーツ観光部 スポーツ課

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、南スーダン共和国との交流を実施。1年9か月間、同国陸上競技選手団5名を受け入れ、練習や生活のサポート、市民との交流活動を行った。ホストタウンとしての功績が評価され、東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣より表彰を受けた。同選手団の活動は多くのメディアに取り上げられ、本市のシティプロモーションにも大いに貢献した。

④ 福祉部 長寿包括ケア課 副主幹 北原 絹代

平成12年から本市初の理学療法士として採用され、市民への介護予防に対する普及啓発、地域で行う介護予防への支援を精力的に行い、現在の事業基盤を作った。

令和3年度、20年の長きにわたり、地域介護予防を推進するリハビリテーション専門職員として職務に精励したことが高く評価され、国民健康保険中央会表彰を受賞した。

⑤ 健康部 保健総務課、保健予防課（庁内を代表して2課を選出）

新型コロナウイルス感染症対策の最前線に立ち、感染者に対する疫学調査、検査及び入院調整、健康観察、並びに、就業制限や入院勧告等の事務処理など、感染者本人のみならず、その家族や濃厚接触者に対応するため、膨大な業務を迅速かつ丁寧に取り組んだことで、本市における感染拡大防止に多大な貢献をした。

また、ワクチン接種では、市内約180の医療機関での接種体制を構築したほか、高齢者に対する優先接種の迅速な実施、エッセンシャルワーカー及び職域接種に対する市予約システムを活用した独自の取組、日本語学校等への働きかけによる留学生への支援など、それぞれの属性に合わせきめ細かに取り組んだことで、11月末時点で対象市民の約9割が2回接種完了し、死亡者や重症者の減少、感染症のまん延防止等に大きく寄与した。

なお、コロナ感染症対策については、兼務職員等全庁的な協力体制のもと前例の無い対応に、オール前橋として取り組むことができ、大きな成果が得られたものと考えており、既に自所属に戻った職員や輩出の所属含め、関わった全ての職員が賞賛に値する。

⑥ 健康部 衛生検査課 主任動物愛護管理技士 齊田 丞

動物愛護管理技士として10年間従事し、動物の愛護と適正な管理の推進に積極的に取り組んでいる。

主に犬猫の収容や飼育管理等を担当しており、緊急にて収容が必要な場合は、休日・昼夜問わず現場に駆けつけ、常に迅速で適正な対応を行うなど、職員だけでなく市民からも信頼を得ている。また、講習会等における分かりやすく丁寧な講義、電話や窓口での苦情対応、他職員への技術指導や動物愛護団体とのコミュニケーションによる信頼関係の構築などは、他の動物愛護管理技士の模範となっている。

これらの功績が認められ、「全国政令市衛生部局長会会長表彰」を受賞した。

⑦ 都市計画部 市街地整備課

社会課題の解決に対して、行政があらかじめ仕様を決めて業務を発注するこれまでの方式から、受託者のノウハウを生かして柔軟に事業を行い成果指標に応じて支払いをする「成果連動型業務委託（PFS）」に加え、事業者があらかじめ投資家などから資金を集めて事業を実施することで、事業の安定と支払いリスクの分散を可能にするSIBを全国で初めて導入したことにより、民間主体のまちづくりの加速に寄与する取組として、国土交通省をはじめ、新聞各紙や専門誌などにも複数取り上げられ、全国の自治体、議会、団体からの講演依頼や執筆依頼、行政視察などの反響を呼んだ。

⑧ 都市計画部 市街地整備課、総務部 防災危機管理課、未来創造部 交通政策課、福祉部 子育て施設課

J R 前橋駅北口地区第一種市街地再開発事業（個人施行者：ファーストコーポレーション株式会社、東京建物株式会社）における、子育て支援施設の整備、災害協定による一時滞在施設の提供、シェアサイクル事業の普及促進、さらに前橋市アーバンデザインと連携するなどの官民が一体となって進める取組が、魅力ある中心市街地の形成に寄与するものとして、令和3年10月28日都市計画全国大会において「第36回都市計画協会会長賞」を受賞した。

⑨ 消防局 予防課 予防課長 手島一樹、係長 松井正人、副主幹 上原靖
東警察署 小隊長代理 黛正判

総務省消防庁が主催する消防防災科学技術賞は、消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、「消防防災機器等の優れた開発・改良を行った者」、「消防防災科学に関する優れた論文を著した者」及び「原因調査に関する優れた事例報告を著した者」を消防庁長官が表彰する制度で、各分野を通じ、本市消防局での優秀賞受賞は初となる。

今回応募した事例は、社外製バッテリーを装着したハンディークリーナーを充電したところ、当該バッテリーから出火した火災であるが、消火活動と緻密な原因調査の連携により、原因究明に至らせ、その後、メーカーに対する再発防止要請にとどまらず、ホームページやSNS、庁内LAN等で早期に注意喚起を実施したところ、全国ネットのテレビ局による特集番組の取材へとつながった。また、これを契機に社外製バッテリーが出火危険を及ぼすことを全国的に知らしめ、同類火災の発生防止対策に大きく貢献したものである。

⑩ 教育委員会事務局 生涯学習課 下川淵公民館

下川淵公民館は、地域特性や住民ニーズに応じた社会教育事業の実施により、地域に根づいた「学びの拠点」としての公民館機能を発揮している。

特に、地域の財産である「下川淵カルタ」を活用して様々な事業を実施し、子どものうちから地域の歴史や文化を学び、郷土愛を育むとともに、子どもからお年寄りまで世代間交流を図っている。また、自治会連合会、生涯学習奨励員、青少年育成団体、自主学習グループ等地域の各種団体の活動支援や学校、企業、関係機関などとの連携により、活力ある地域づくりを推進している。

これらのことが評価され、「優良公民館文部科学大臣表彰」を受賞した。

【職務外】

① 消防局 予防課 係長 松 井 正 人

輸血が必要な人を一人でも多く救えるよう、平成3年度から献血を始め、現在も継続して定期的な献血を行い、本年10月8日に群馬県献血推進協議会長（群馬県知事）から感謝状及び金色有功章の表彰を受けた。

献血をとおして群馬県内外の地域的な活動を行い、献血ボランティアに30年貢献し、現在もなお、多数の人命救助に貢献している。

② 消防局 北消防署白川分署 小隊長代理 中 野 良 一

ボディビル競技に取り組んで以来、国内の数々の大会において上位成績を収めてきた。近年では第53回日本社会人ボディビル選手権大会一般の部及び第55回日本社会人ボディビル選手権大会一般の部において中止となった昨年を挟んで連覇。本年9月には第33回日本マスターズボディビル選手権大会（IFBB世界ボディビル選手権大会代表選考会）40歳以上級にて優勝。さらに、11月にスペインで開催されたIFBB世界ボディビル選手権大会40-44歳80kg以下級にて日本代表としてエントリーし5位という優秀な成績を収め入賞を果たした。また日本ボディビル・フィットネス連盟公認指導員二級の資格を取得し、肉体美を追求する競技スポーツとしての枠を超え、国民の健康増進及び体力向上を目的に日々取り組んでいる。

2 善行賞

① 健康部 保健予防課 副主幹 松 岡 一 夫

令和3年11月22日（月）午前6時30分頃、通勤途中の交差点（堀越町）東側で信号待ちをしていたところ、交差点北側から南進してきた自動車が速度を落とすことなく交差点南西側のフェンスに衝突する現場を目撃。自車を、すぐに安全な場所へ停車し、衝突している自動車の搭乗者に声をかけたが、呼吸は確認できたものの意識がなく返答できない状態だったため直ちに消防へ通報した。

その後は通報を維持したまま現場や搭乗者の状態を説明、他の通行人と連携し警察への通報や搭乗者への声かけを続けるなど、救急車到着まで対処した。

救急車到着後は、警察官の現場検証にも協力するなど、迅速かつ的確な対応により人命救助に大きく貢献した。

② 消防局 中央消防署千代田分署 小隊長代理 山 崎 豊

令和3年10月25日、中之条町地内の林道をバイクでツーリングをしていたところ、高齢男性と遭遇した。その衰弱した

様子と会話内容から遭難者と判断して110番通報した。その時点ですでに家族から捜索願が出ており、活動中の捜索隊（吾妻警察・消防団）を遭難者のもとまで誘導し救助となった。

高齢男性発見時にその様子からいち早く異常を察知し、声をかけその後適切に対応した行動は模範といえる。場所は山間部で携帯電話の不感地帯であったため、通報にその場を離れる必要があった。その際必要な情報を的確に聴取し、高齢男性にはその場に待機しているよう要請するなどの対応が迅速な救助に貢献した。

高齢男性は日帰りの予定で入山したところ、道に迷い一夜を明かし脱水状態となっていた。更に天候が悪化してきており、救助が遅れれば惨事となっていた可能性は高い。この人命救助の功労に対し吾妻警察署長から感謝状が授与され前橋市職員の信頼向上に大きく貢献した。